

進路の手引

保存版



あなたの夢は、何ですか。

夢をかなえるためには様々な学習や経験が必要です。中学校生活の中で、何をどのように学び、体験していくことが必要なのでしょうか。その参考になるよう、このリーフレット「進路の手引」を作成しました。

手引には、進路選択に向けた道すじや中学校生活で心がけること、高等学校等の情報などを掲載しています。自分の進路を考える上で、この手引を役立ててください。

自分を信じてチャレンジしよう

自分の「夢」をもつことは大切なことです。でも、もっと重要なことは、その「夢」に向かって努力を続けていく「過程」なのです。進路とは、進むべき路（みち）、自分の生き方のことです。

中学校を卒業しても人生は続きます。自分の「夢」や「希望」の実現のために、中学校卒業後の自分について、考えてみましょう。

学校の授業を大切にしよう

夢をかなえるには、夢に向かって努力し続けることに加え、幅広い知識をもつこと、考える力や判断する力、自分の考えを発表する力を身に付けることが大切です。これらの力は一人の学習だけでは身に付きません。学校の授業で、みんなとの様々な学習等を通して、少しずつ身に付けていくものです。

つまり、学習の基本は授業です。学校の授業を大切にしましょう。

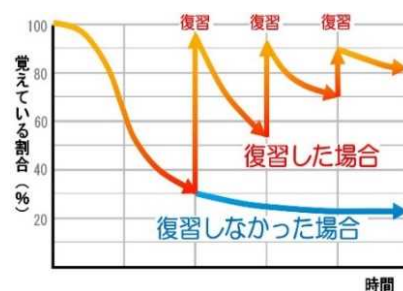
学習の心構え

- 1 準備をしっかりする。（忘れ物をしない、宿題は家でする、チャイム前着席をするなど）
- 2 「なぜだろう？」と問いをもちながら授業に参加する。
- 3 重要だと思ったことをメモしたり線を引いたりするなど、自分なりの工夫をする。
- 4 知る、覚えるだけでなく、積極的に意見を発表したり話し合ったりして考えを深める。
- 5 分からないことはそのままにせず、先生や友達に質問する。

家庭学習を充実させよう

人は、一度学習したことも、時間が経つとどんどん忘れてしまいます。学校で学習したことを繰り返し復習することで、学習内容を身に付けることができます。そのためにも、家庭学習が欠かせません。

また、分からないことを自分で調べ、考え、解決していく力は、将来にわたって、生活の様々な場面で必要になります。このような力のもとになる「自ら学ぶ力」を育てるためにも、家庭学習は大切です。将来の目標に向け、自分に合った学習計画を立て、こつこつとやり遂げましょう。



エビングハウスの忘却曲線より

家庭学習 5つのポイント

- 1 決まった時間に、決まった場所で学習する。
- 2 勉強に集中できる環境をつくる。
（例）学習する場所には、ゲームなどを置かない。
- 3 宿題から取り組む。
- 4 具体的な目標（時間、内容）を決め、計画的に取り組む。
- 5 調べ学習などの自主学習や、読書に取り組む。



県教育委員会が作成した「家庭学習の手引」は、下記の URL からダウンロードできます。家庭での学習習慣の形成に役立つための資料に御活用ください。



<http://www.pref.nara.jp/68897.htm>

自分の将来の夢へ向けて中学校生活を充実させよう

中学1年…自分自身を見つめる

自分のよさや個性を伸ばすとともに、中学生としての規律や生活習慣を身に付ける時期です。



中学校生活のスタートです。新しい学校生活への夢や希望、期待や不安でいっぱいでしょう。中学校の3年間は心も体も大きく成長する時期です。

将来どのような進路を歩んでいきたいかを考えるために、自分を見つめ、よさや個性を伸ばしていきましょう。

自分を知ろう、認めよう

自分のよいところをいくつか言えますか？

誰でも長所もあれば短所もあります。それらをすべて受け入れ、自分自身を大切にできる気持ちを自尊心といいます。自尊心が高まれば、他の人と互いに認め合い、前向きに生きていくことができます。

そのためにも、中学校生活では、今までやったことのないことにどんどん挑戦していきましょう。きっと自分の中にあるすばらしさに気付くことができ、そこから自分の夢や将来が見えてくることでしょう。

あなたのよいところはどんなところでしょうか？

□欄に☑（チェック）を入れよう。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 運動が得意 | <input type="checkbox"/> 読書が好き |
| <input type="checkbox"/> 音楽が好き | <input type="checkbox"/> 人に優しい |
| <input type="checkbox"/> 細かい作業が得意 | <input type="checkbox"/> きれい好き |
| <input type="checkbox"/> ユーモアがある | <input type="checkbox"/> みんなをまとめる |
| <input type="checkbox"/> 機器類の操作が得意 | <input type="checkbox"/> 動物が好き |
| <input type="checkbox"/> 時間や期限を守る | <input type="checkbox"/> 力持ち |
| <input type="checkbox"/> だれとでも仲よくなる | |
| <input type="checkbox"/> () | () |

中学2年…将来の自分を描く

将来についての意識を深め、自分らしい生き方を考える時期です。

中学校生活にも慣れ、学習、部活動、生徒会活動と、いろいろチャレンジでき、自分を伸ばす絶好の時期です。同時に、社会や大人をしっかりと見る目が育ってきます。なぜ人は学ぶのか、なぜ人は働くのかをこの時期に考えることは、自立に向けた大切な学習です。身の回りにある様々な職業について調べ、自分に合う仕事について考えるなど、自分の将来像を描いてみましょう。



様々な職業について調べよう

- ・世の中にはどんな職業があるか。
- ・自分の個性や適性を生かすことができる職業は何か。
- ・希望する職業に就くためには、中学校卒業後、どのような進路を選択するか。
- ・どんな資格や条件が必要か。
- ・夢の実現のために、今できること、しておくべきことは何か。

職業体験学習を通して生活の基本を学ぼう

県内の多くの中学2年生が職業・職場を実際に体験し、職業そのものの内容や、働いている人の生き方などについて学びます。

体験を通して学んだことは、自分の進路を考える上で、何かのヒントになるかもしれません。積極的に取り組んで有意義なものになるように心がけましょう。



中学3年…自分の進路を選択する

夢の実現のため、自分の進路を具体的に考え、決断する時期です。

進路選択を前にして、中学校での学習や生活を大切にしましょう。卒業後の、社会や職業について考え、自分のために勉強し、自分の人生を切り拓きましょう。



進路を考えよう

進路決定のとき

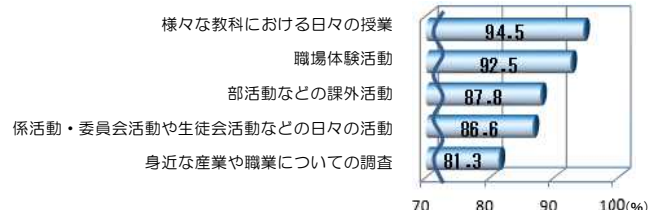
- ・周りの人に自分の思いや考えを伝え、アドバイスをもらいましょう。学校では「懇談（面談）」が複数回行われます。
- ・自分の将来の夢に近づく進路選択をしましょう。100人いれば100通りの進路があります。
- ・どんな進路も、努力なしでは切り拓くことができません。夢の実現に向け一歩一歩努力を続けましょう。

進路を決めるときのチェックポイント

- 自分の興味・関心 特技・長所
- 学習状況
- 家族や先生等のアドバイス



先輩に進路選択で役に立ったことを聞きました。



令和2年3月 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター「キャリア教育に関する総合的研究 第一次報告書」より

上のグラフは、中学校を卒業した人が、自分の将来の生き方や進路を考える上で、役に立ったと思う学習や活動の主なものです。中学校生活でどのようなことを大切にすべきか考えてみましょう。

保護者の皆さんへ

お子さんの進路実現に向けて、学年ごとの関わりをまとめてみましたので参考にしてください。

1年

中学校入学後にそれまでの小学校生活とは異なる新しい環境になじめず、不安や戸惑いを感じ、悩むことがあります。また、この時期は、思春期に入り、理想の自分と現実の自分との違いなど、様々な葛藤の中で自らの生き方を探し始めます。家庭では、お子さんが自分のよさに気付くための助けとなるような言葉かけや、自信をもてるような関わりをしていくことが大切です。

2年

夢や希望をもって将来の生き方や職業を思い描き、それを実現するために、今しなければならないことを考える時期です。働くことの楽しさや喜び、世の中に貢献することの意義や生きがいなどについて、保護者の体験を語り、お子さんと一緒に考えましょう。将来社会人になるための自覚をもてるようにすることが、何よりも大切です。

3年

中学校卒業後の進路を選択する時期です。子どもが自分に合った進路を見つけ、選択するために、家庭で子どもの進路に対する思いをじっくりと聴きましょう。初めての経験に迷い、不安になる子どもの心に寄り添いながら、大きな視野をもち、ゆったりと見守っていくことが大切です。

進路の情報をお子さんと共有しましょう

変化の大きい現代では、進路の情報も常に同じとは限りません。様々なメディアを利用しながら、最新の情報をお子さんと共有することが大切です。奈良県の高校入試のWebページ等で進路の状況を確認しましょう。

高校入試Webページ <https://www.pref.nara.jp/66542.htm>



中学校卒業後の進路

<職業の世界>

コンピュータ関連の仕事、電気工事士、自動車整備士、歯科衛生士、介護福祉士、ファッションデザイナーなど

建築士、測量士、電気工事士や販売、事務、サービス、製造関連の仕事など

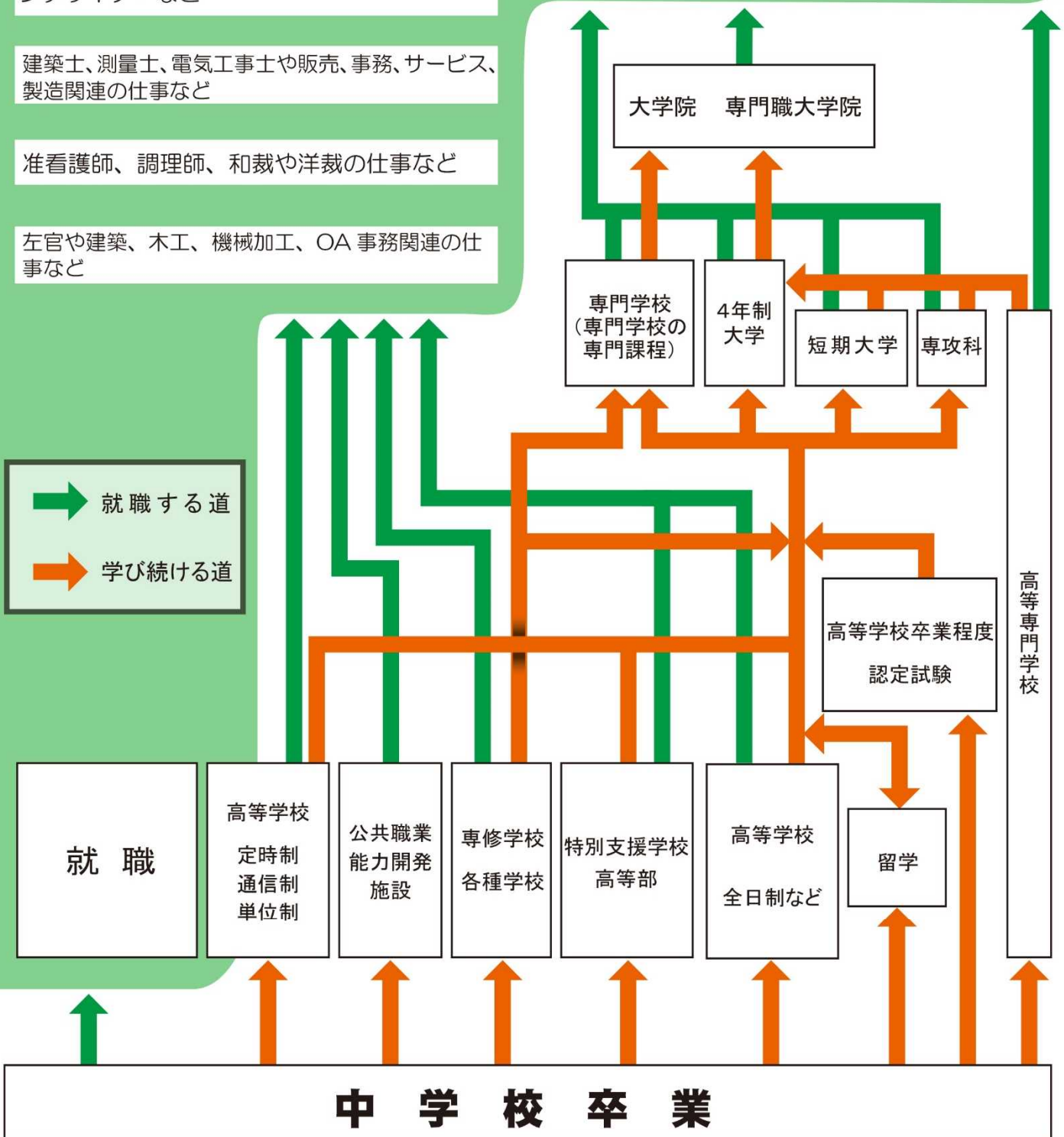
准看護師、調理師、和裁や洋裁の仕事など

左官や建築、木工、機械加工、OA事務関連の仕事など

科学者や研究開発の仕事、政府や国際機関の職員など

機械、コンピュータ、航空、電気、建築などの技術者や航海士、通信士など

新聞記者、編集者、獣医師、教員、パイロット、公認会計士、工業や農業関係の技術者など



高校入試で求められる力とは

これからの社会で必要となってくる力には、理解していること・できること（知識・技能）に加え、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」などがあります。奈良県公立高等学校入学選抜において、例えば国語科、社会科では、そのような力を問う問題が次のように出題されています。

国語

テーマに基づき、内容を検討しながら、条件に従って自分の考えをまとめ表現する力。

五

春香さんは、国語科の授業で、資料や機器を活用して発表する学習に取り組んでいる。テーマは「私のおすすめの場所」で、春香さんは、プレゼンテーションソフトを用いたスライド資料を活用し、地域に住む田中さんが運営する図書室「青垣ライブラリー」を紹介した。次は、春香さんが作成した「発表の進行案」である。これを読み、各問いに答えよ。

(三) あなたが友達にすすめたい場所について、次の①、②の条件に従って書け。

条件① 二段落構成で書くこと。第一段落では、すすめたい場所を具体的に書き、第二段落では、すすめたい理由を書くこと。

条件② 原稿用紙の使い方によって、百字以上百五十字以内で書くこと。

(令和6年度一般選抜学力検査問題より)

社会

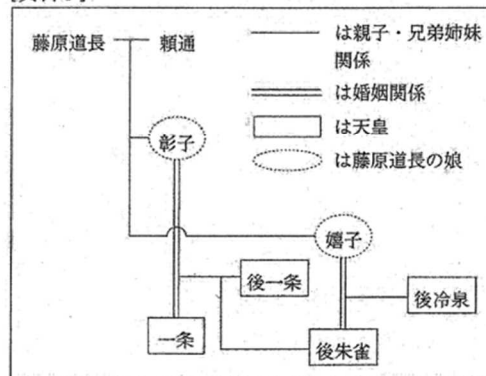
資料を基に考察し、表現する力

1 令子さんは、古代から近世における各時代の政治に関する出来事について、調べることにした。次のメモは、令子さんが調べた出来事の一部である。各問いに答えよ。

(2) 資料Iは、藤原氏と皇室の関係を示した図の一部である。下線部Bが政治の実権をにぎることができたのはなぜか。その理由を、資料Iを参考にして、簡潔に書け。

※ 下線Bとは、[資料1]内の「藤原道長」を指す。

[資料I]



(令和6年度一般選抜学力検査問題より)

※公立高等学校入学選抜学力検査問題等は下記のURLからダウンロードできます。

<https://www.pref.nara.jp/17661.htm>



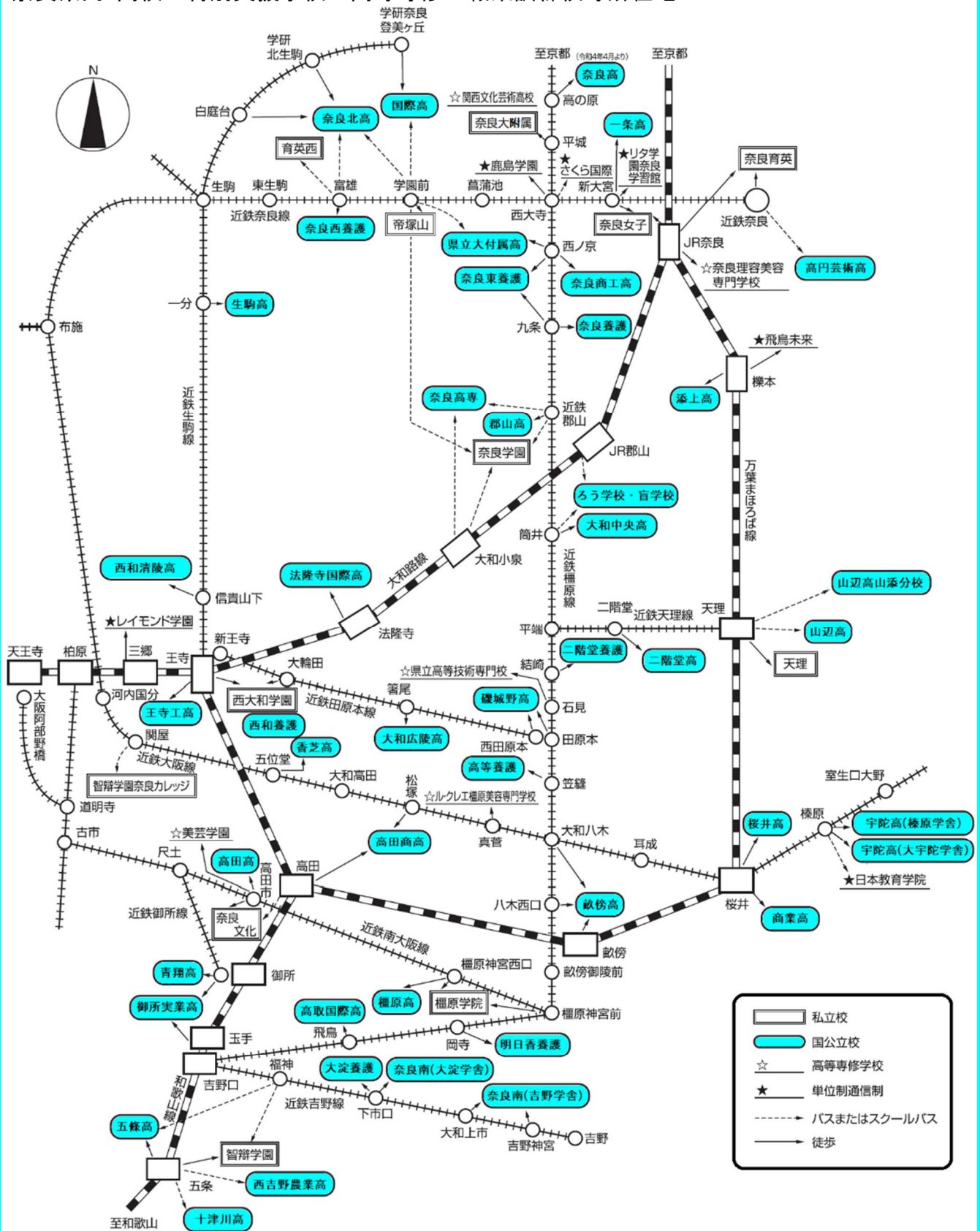
【正答例】

- (国語) 五 (三) (例) 私がすすめたい場所は、家の近くの高台にある、見晴らしのよい校庭である。特に、そこから見る朝日の美しさは格別だ。うまくいかない時や沈んだ気分の時も、そこから朝日を見ると気分が明るくなり、またがんばろうと元気がわいてくるのだ。元気をくれる場所として、ぜひ友達にすすめたい。
- (社会) 1 (2) (例) 自分の娘を天皇のきさきにし、その間に生まれた子を天皇に立てたから。

奈良県立高等学校の課程・学科等の構成

※本頁掲載の県立高等学校の情報は、令和7年度以降に生徒を募集する学校の令和7年3月31日現在の情報です。

奈良県内 高校・特別支援学校・高等専修・職業訓練校等所在地



(「奈良県中学校 進路情報・資料」より作成)

令和7年3月31日現在で設置している県立高等学校の詳しい情報（特色、部活動、進路状況、学校生活の様子など）は、次のURLから見るができます。

<http://www.pref.nara.jp/17431.htm>

